

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

中央銀行プレスリリース

2021年10月19日

対外セクター概況 - 2021年8月

概要

2021年8月、資金流入の増加により総公的準備高（GOR）が増加し、輸出収益は3か月連続で10億米ドルを超えた。しかし輸入支出の増加が輸出収益の増加を上回り、貿易赤字は前年比で拡大。観光客数は前月比で大幅に増加したが、依然として低水準に留まった。国外労働者からの送金は緩やかな動き。スリランカは国際通貨基金（IMF）から2021年の一般特別引出権（SDR）割当ての一部を受け取った。さらに2021年8月、スリランカ中央銀行とバングラデシュ銀行の間の二国間通貨スワップ協定に基づく最初の支払いを受けた。インターバンク市場の平均スポット為替レートはおおむね安定していたが、月末にかけて為替レートへの圧力が観測され、中央銀行はルピー安定に外国為替市場に介入した。

表1：対外セクター 実績 サマリー

カテゴリー	2020年 8月 100万米ドル	2021年 8月 100万米ドル	推移 (%)	2020年 1~8月 100万米ドル	2021年 1~8月 100万米ドル	推移 (%)
商品輸出	947	1,100	16.2	6,445	7,903	22.6
商品輸入	1,289	1,687	30.8	10,257	13,411	30.7
貿易収支	-342	-586		-3,812	-5,509	
観光収入	-	7	-	682	33	-95.2
国外労働者からの送金	664	447	-32.8	4,346	4,224	-2.8
CSEへの純流入	-44	-16		-173	-181	
政府への総流入	118			1,433	1,233	
国債	1			91	16	
長期ローン	117	n.a.		1,341	1,218	
外国直接投資（総額）				351	398	
合計				-722	-2,423	

出典：スリランカ税関当局（SLC）、スリランカ観光開発委員会（SLTDA）、コロンボ証券取引所（CSE）、スリランカ投資委員会（BOI）、スリランカ中央銀行（CBSL）

【仮訳】

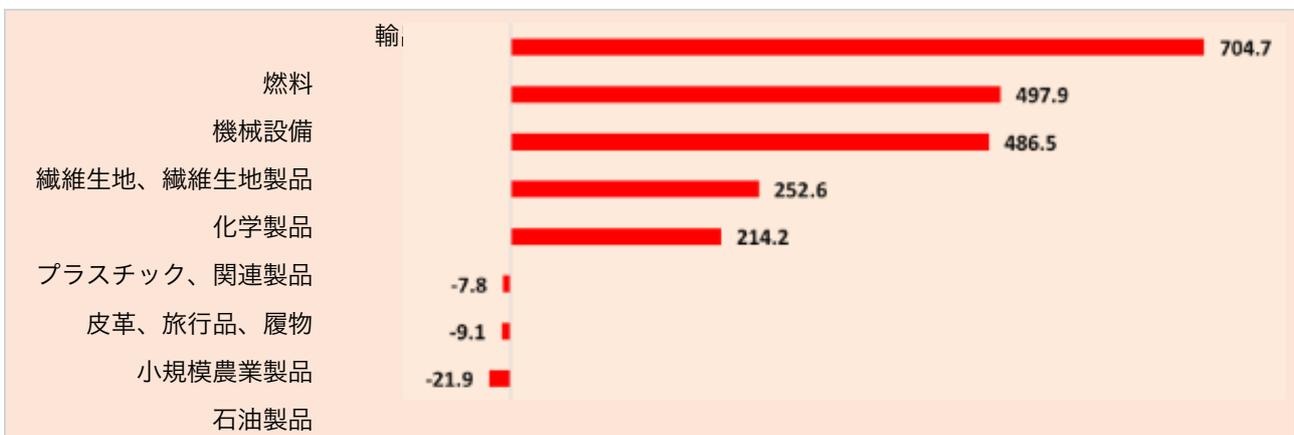
* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

貿易収支と貿易指標

貿易収支：貿易赤字は、前年同月の3.42億米ドルに対し、5.86億米ドルに拡大。2021年1～8月累計の貿易赤字も、2020年同期の38.12億米ドルから55.09億米ドルに拡大。主な要因は図1のとおり。

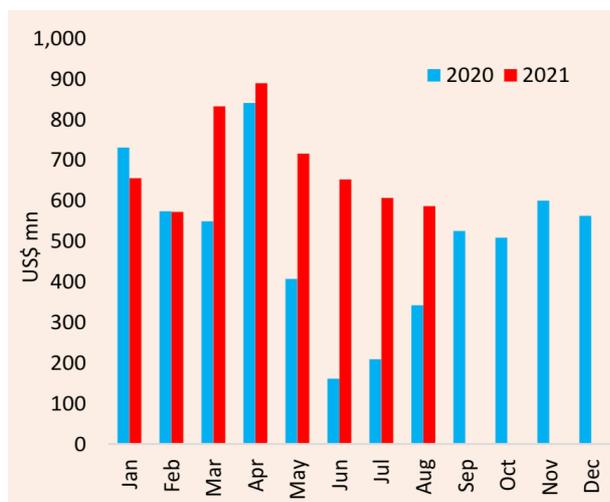
貿易指標：貿易指標（輸出価格と輸入価格の比率）は、輸入価格の上昇が輸出価格の上昇を上回り、前年同月比で19.2%悪化。

図1：2021年1～8月期 前年同期比 貿易赤字拡大主要因（百万米ドル）



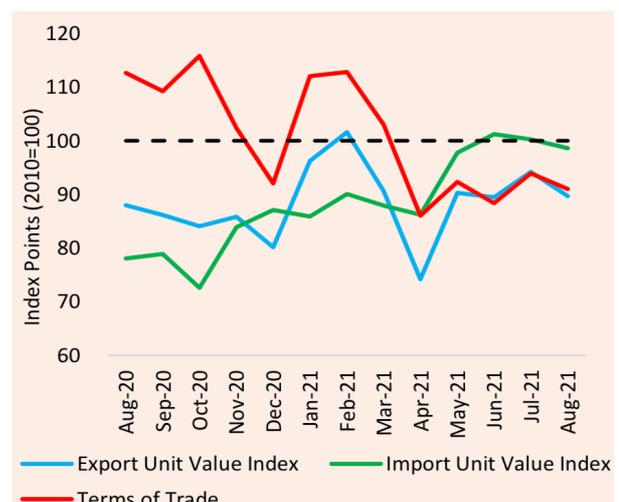
出典：SLC、CBSL

図2：月別貿易赤字（2020～21年）



出典：SLC、CBSL

図3：貿易指標（2020～21年）



出典：CBSL

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

商品輸出

輸出全般：2021年8月の輸出収益は前年同月比16.2%増の11.00億米ドルとなり、8月としては最大の輸出額を記録。前月の輸出収益はわずかに多く11.04億米ドルだった。2021年1～8月累計輸出収益は、前年同期の64.45億米ドルに対し、22.6%増の79.03億米ドル。しかし、輸出によって出て行く商品と入ってくる資金の間に、ここしばらくは月平均で約3.45億米ドルの差異が生じており、懸念されている。

工業製品輸出：工業製品輸出収益は前年同月比17.5%増。繊維衣料品、石油製品、ゴム製品、食品・飲料・タバコ、機械・機械器具などほとんどの工業製品の輸出収益が幅広く増加。繊維衣料品はすべての主要市場向けに増加。石油製品輸出額増加は、航空機用燃料とバンカー燃料の価格上昇、バンカー燃料の輸出量の増加による。またタイヤと手袋の輸出が増加し、ゴム製品の輸出収益も増加。

農産品輸出：農産品輸出収益は前年同月比10.9%増。主に紅茶、ココナッツ（カーネル品と非カーネル品の両方）、小規模農産品（主にゴマ、ビンロウ）、水産物、ゴムの輸出収益が増加。紅茶は前年比で単価は下回ったが輸出量が増加し、輸出収益が増加。コショウ、クローブ、ナツメグ、メースなどスパイスの輸出収益は、シナモンを除いて増加。

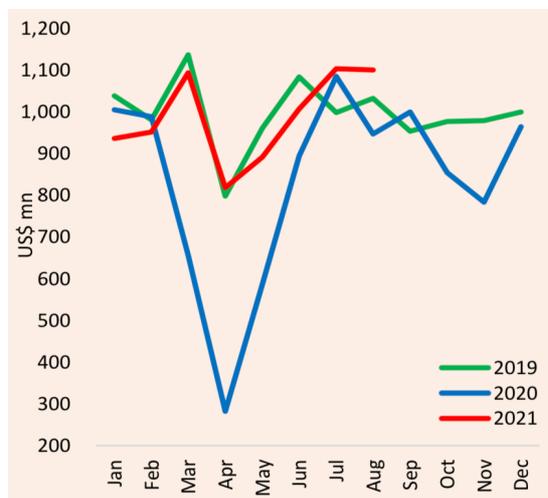
鉱物資源輸出：鉱物資源は土石、鉱滓、灰分の輸出収益が高く、前年同月に比べて増加。

輸出指標：前年同月比で輸出量指数は13.9%増、単価指数は2.0%増。前年同月比での輸出額増は輸出量増加の影響であることがわかる。

【仮訳】

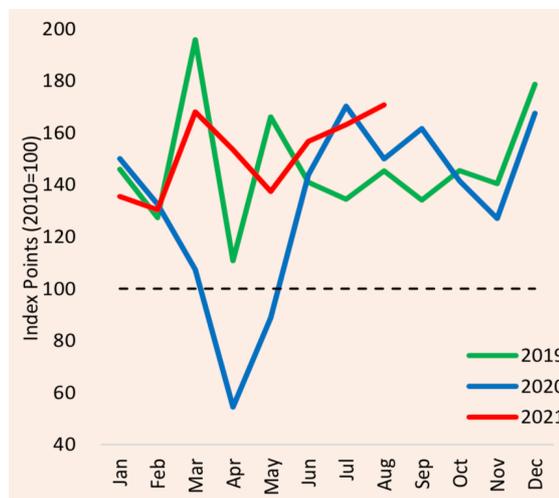
* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

図 4：月別輸出実績



出典：SLC、CBSL

図 5：月別輸出量指標



出典：CBSL

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

表 2：商品輸出収益

カテゴリー	2020年 8月 100万米ドル	2021年 8月 100万米ドル	推移 (%)	2020年 1～8月 100万米ドル	2021年 1～8月 100万米ドル	推移 (%)
1. 工業製品輸出	729.0	856.8	17.5	4,905.4	6,093.2	24.2
食品・飲料・タバコ	40.8	57.5	41.0	302.9	354.0	16.9
動物飼料	7.7	5.5	-28.9	75.6	77.5	2.5
繊維衣料品	440.0	493.3	12.1	2,853.1	3,434.8	20.4
衣料品	389.6	439.6	12.8	2,528.1	3,122.6	23.5
生地	22.5	43.3	92.2	154.9	227.5	46.8
その他繊維衣料品	28.0	10.4	-62.7	170.1	84.8	-50.2
ゴム製品	71.0	88.6	24.8	488.9	681.7	39.4
宝石・ダイヤモンド・宝飾品	12.2	21.7	77.8	102.6	178.0	73.4
機械・機械器具	31.1	41.1	32.4	209.5	329.1	57.1
輸送用機器	7.1	9.5	32.7	46.2	74.8	61.8
石油製品	22.0	46.3	110.7	268.1	294.9	10.0
化学製品	15.7	16.7	6.1	107.7	143.7	33.4
木材・紙製品	9.3	10.6	14.0	64.7	82.6	27.7
印刷業製品	4.5	6.1	36.0	25.9	35.5	37.0
皮革・旅行品・履物	5.7	5.8	3.1	38.2	33.8	-11.4
プラスチック関連品	23.7	6.0	-74.8	72.6	50.7	-30.2
ベースメタル関連品	10.4	15.5	49.1	76.0	100.1	31.8
セラミック製品	1.8	3.1	71.5	13.3	24.7	85.9
その他工業製品輸出	25.9	29.5	13.9	160.2	197.4	23.3
2. 農産品輸出	215.9	239.4	10.9	1,516.0	1,765.5	16.5
紅茶	103.0	116.8	13.4	805.6	882.4	9.5
ゴム製品	1.5	3.7	149.1	17.9	27.3	52.7
ココナッツ	33.9	40.1	18.1	221.5	276.9	25.0
スパイス	39.7	39.7	-0.1	194.5	282.4	45.2
野菜	5.2	2.2	-56.9	26.1	18.4	-29.7
非加工タバコ	4.9	2.6	-46.3	16.9	21.4	26.6
小規模農産品	12.1	15.7	29.9	100.3	91.1	-9.1
海産物	15.6	18.6	19.6	133.2	165.5	24.3
3. 鉱物資源輸出	1.6	3.1	93.3	14.3	30.7	115.3
4. 非分類品輸出	0.8	1.0	36.1	9.3	13.6	45.5
輸出合計	947.2	1,100.4	16.2	6,445.0	7,903.0	22.6

出典：SLC、国立宝石宝飾品委員会 (NGJA)、国営セイロン石油公社 (CPC) 及び 他石油輸出者、CBSL

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

商品輸入

輸入全般：2021年8月の商品輸入支出は、前年同月の12.89億米ドルから30.8%増の16.87億米ドル。輸入額増は、政府の輸入規制の継続にも関わらず、消費財、中間財、投資財の全主要カテゴリーで見られた。2021年1～8月累計輸入収益は、前年同期の102.57億米ドルから134.11億米ドルに増加。

消費財：食品・飲料は、主に野菜（主にレンズ豆、タマネギ）、乳製品（粉ミルク）、海産物（主に乾燥小魚、冷凍魚）、スパイス（唐辛子）、その他食品・飲料が増加し、前年同月比で12.3%減少。砂糖の輸入支出は減少。一方、非食品消費財は、主にワクチンの輸入支出により前年同月比で67.5%増加。また、家電製品、通信機器、ゴム製品、家庭用品・家具なども増加。

中間財：前年同月比で27.6%増加、主に燃料と繊維および繊維製品が増加。燃料輸入は、石油精製品と原油の輸入価格が上昇、輸入量は減少し、前年同月比で42.5%増加。原油1バレルあたりの輸入額は、前年同月の47.74米ドルに対し74.88米ドルだった。肥料の輸入額は、政府の肥料政策を反映し、顕著な減少が見られた。

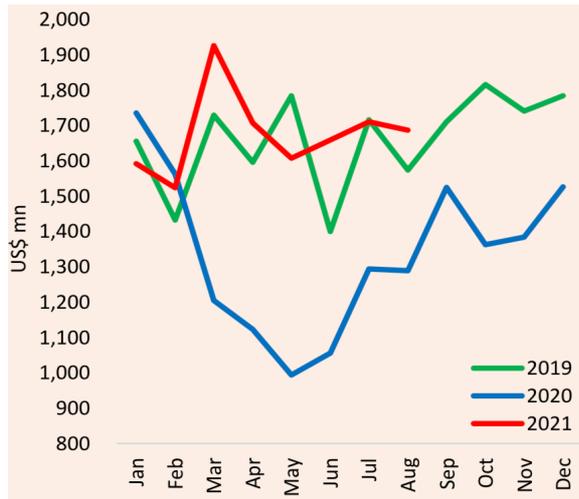
投資財：前年同月比で30.8%増加。機械設備では、コンピュータなど事務機、医療・実験機器、農業機械、電動機・発電機、その他産業機械などの輸入額が大幅に増加。建設資材は、主に鉄・鋼鉄および関連製品、鉱物製品（主にアスベスト）の輸入により増加。セメントの輸入額は数量効果により減少したが、輸送機器は主に小型飛行機や農業用トラクターの輸入により増加。

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

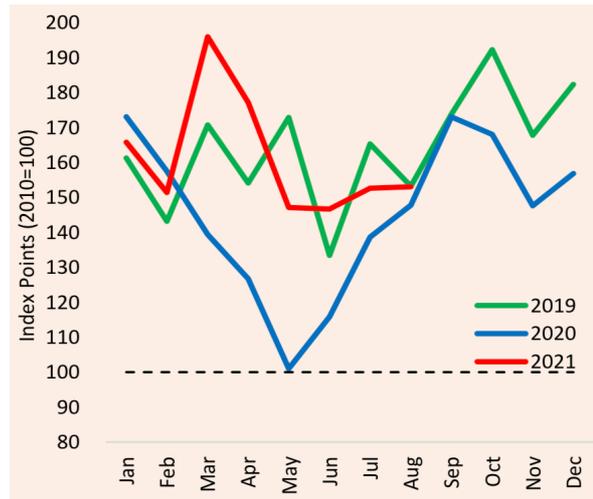
輸入指標：前年同月比で輸入量指数は 3.6%増、単価指数は 26.3%増。前年同月比での輸入額増は主に価格の上昇の影響であることがわかる。

図 6：月別輸入実績



出典：SLC、CBSL

図 7：月別輸入量指標



出典：CBSL

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

表 3：商品輸入支出

カテゴリー	2020年 8月 100万米ドル	2021年 8月 100万米ドル	推移 (%)	2020年 1~8月 100万米ドル	2021年 1~8月 100万米ドル	推移 (%)
1. 消費財	228.6	324.3	41.8	2,300.3	2,579.3	12.1
食品・飲料	106.1	119.1	12.3	1,023.7	1,151.9	12.5
穀類・精米製品	3.0	2.3	-21.7	21.0	24.4	16.1
乳製品	23.0	30.6	32.9	228.9	231.2	1.0
野菜	18.4	36.1	96.9	246.3	278.7	13.1
海産物	12.7	14.8	17.2	139.5	82.5	-40.8
砂糖・菓子類	18.5	3.2	-82.8	162.6	211.3	30.0
スパイス	8.0	9.8	22.4	84.2	90.5	7.6
その他食品・飲料	22.7	22.3	-1.6	141.2	233.3	65.2
非食品消費財	122.5	205.1	-1.6	1,276.7	1,427.3	11.8
個人用車両	1.3	1.1	-13.6	280.8	7.8	-97.2
医療・医薬品	47.6	98.5	106.8	385.3	532.0	38.1
家電製品	8.6	16.5	91.6	100.4	179.8	79.1
衣類アクセサリ	13.2	18.5	39.8	137.6	138.7	0.8
通信機器	27.6	32.8	18.7	174.6	283.1	62.2
家庭用品・家具	10.4	13.4	28.6	91.6	103.6	13.1
その他非食品消費財	13.7	24.3	77.7	106.4	182.4	71.4
2. 中間財	791.3	1,010.0	27.6	5,692.4	7,942.4	39.5
燃料	247.5	352.7	42.5	1,691.2	2,395.9	41.7
うち 原油	69.3	107.7	55.4	387.6	516.4	33.2
精製石油	178.2	245.0	37.5	1,174.4	1,748.3	48.9
石炭	0.0	0.0	-49.1	129.2	131.2	1.6
ダイヤモンド、貴石、貴金属	7.9	6.8	-14.6	57.4	81.7	42.3
繊維及び繊維製品	194.4	241.3	24.1	1,457.2	1,943.7	33.4
紙及び板紙、関連製品	30.5	37.5	22.7	239.5	319.4	33.4
農業資材	14.6	25.0	71.0	132.5	187.3	41.3
小麦・トウモロコシ	46.0	55.0	19.4	229.3	265.9	15.9
ベースメタル	39.0	39.6	1.5	246.6	499.2	102.4
プラスチック及び関連品	48.9	54.5	11.5	323.9	518.6	60.1
化学製品	65.3	80.1	22.6	518.3	732.6	41.3
肥料	8.2	0.9	-88.7	124.3	104.0	-16.4
ゴム及び関連製品	17.0	35.4	108.3	145.8	265.8	82.3
鉱物製品	14.3	17.7	23.6	107.6	106.1	-1.4
その他中間財	57.5	63.6	10.6	418.7	522.4	24.8
3. 投資財	269.0	351.7	30.8	2,253.2	2,882.3	27.9
機械設備	177.6	224.0	26.1	1,324.6	1,822.5	37.6
建設資材	82.0	97.5	18.9	671.4	803.9	19.7
輸送用機器	9.1	29.6	224.5	255.3	252.1	-1.2
その他投資財	0.2	0.5	142.0	2.0	3.7	90.6
4. 非分類品輸入	0.2	0.8	312.3	11.4	7.6	-33.8
輸入合計	1,289.1	1,686.7	30.8	10,257.4	13,411.5	30.7
うち 非燃料輸入	1,041.6	1,334.0	28.1	8,566.1	11,015.6	28.6

出典：SLC、CPC、Lanka IOC PLC、CBSL

【仮訳】

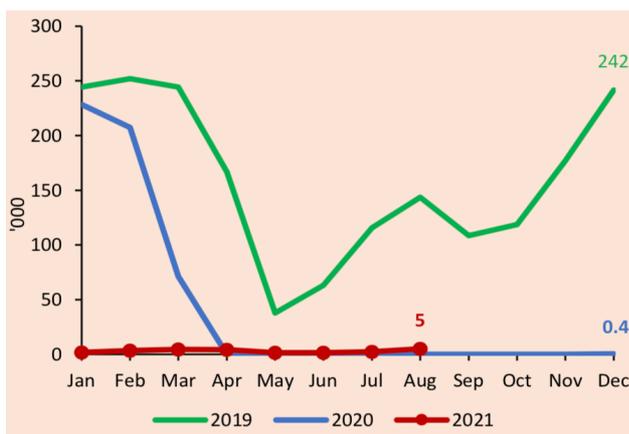
* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

その他の主な経常収支への流入

2021年8月の出稼ぎ労働者による国外からの送金は前年同月比で緩やかに。2021年8月の送金額は、前年同月の6.64億米ドルに対し4.47億米ドル。2021年1～8月累計の送金額は、前年同期比2.8%の微減の42.24億米ドル。

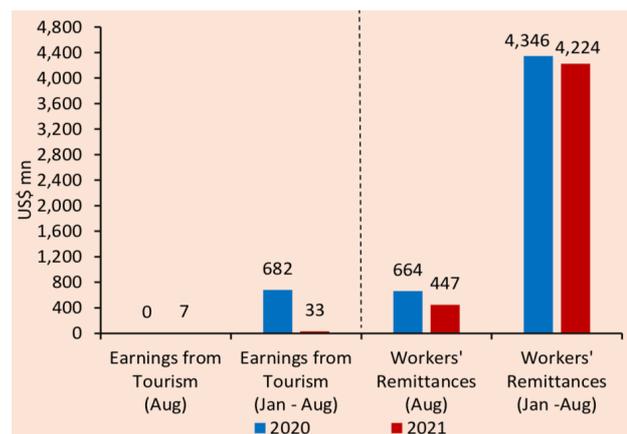
2021年8月の観光客数は前月比で若干の増加。観光客到着数は前月の2,429人に対し5,040人。2021年1～8月累計の観光客数は24,377人、前年同期は507,311人だった。訪問観光客の主な出発国は、カナダ、ドイツ、イギリス。2021年8月の推計観光収益は700万米ドル。2021年1～8月累計での観光収入は、前年同期の6.82億米ドルに対し、3,300万米ドルと推定。

図8：月別観光客到着数



出典：SLTDA

図9：観光・送金収入



出典：SLTDA、認可銀行、CBSL

資金フロー

2021年8月の政府証券市場では、外国投資のわずかな流出を記録。2021年1～8月累計での政府証券市場からの累積純流出額は2,600万米ドルで、2021年8月末時点でのエクスポージャー総額は1,000万米ドルと低水準のままに。一方、2021年8月のコロナボ証券取引所（CSE）からの純流出額は1,600万米ドル、2021年1～8月累計では1.81億米ドルの純流出を記録。

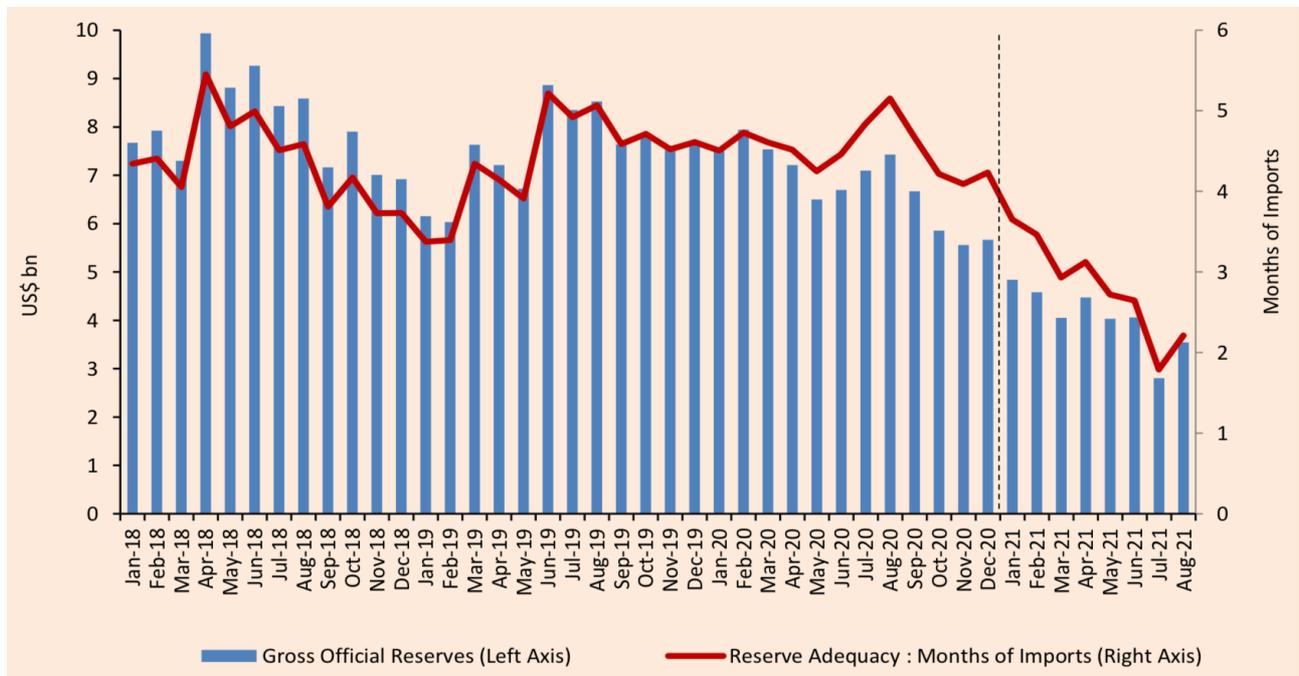
【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

公的準備高

2021年8月末の総公的準備金は、前月末の28億米ドルから35億米ドルに増加。この増加は、IMFのSDR割当て、スリランカ中央銀行とバングラデシュ銀行の間の二国間通貨スワップ協定に基づく初期支出による。なお、上記の準備高には、中国人民銀行と中央銀行の間で締結された100億元（約15億米ドル）の3年間の二国間通貨スワップ枠は含まれていない。一方、総公的準備高と銀行セクター資産を合わせた総外国資産は、2021年8月末時点で73億米ドルに達し、輸入の4.6か月分をカバー。

図10：総公的準備高と準備高の充足状況



出典：CBSL

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

為替レートの動き

2021年8月のインターバンク市場における加重平均スポット為替レートは、月末に為替レートへの圧力の高まりが見られたが概ね安定。8月のスリランカルピーの対米ドル為替レートは4.8%下落。これは主に、8月後半に輸入支出向けに外国為替の流動性が高くなり、中央銀行が流動性供給のために外国為替市場に介入したことによる。2021年10月18日までの1年間で、スリランカルピーは対米ドルで6.8%下落。一方、クロス通貨の動きを反映し、2021年1月1日～10月18日までの間、スリランカルピーは、ユーロ、ポンド、豪ドル、インドルピーに対して下落、日本円に対しては上昇。一方、実質実効為替レート（REER）の指標に反映されているように、スリランカルピーは依然として大きく過小評価されている。

図 11：対米ドルでのスリランカルピーの動き



出典：CBSL

表 4：主要通貨に対するスリランカルピーの動き

通貨	2019年	2020年	2021年10月18日時点 ルピー安 (-)/ ルピー高 (+)
米ドル	+0.6%	-2.6%	-6.8%
ユーロ	+2.6%	-11.2%	-1.1%
英ポンド	-2.8%	-6.2%	-7.5%
日本円	-1.0%	-7.5%	+3.1%
豪ドル	+1.3%	-11.4%	-3.2%
インドルピー	+2.6%	0.0%	-4.5%

出典：CBSL